

シスプラチンによる治療を受けられる患者様へ

シスプラチンによる腎障害を予防するために

腎臓の働きが悪くなると、からだの中の捨てなければならないものや余分な水分が血液の中にたまってしまう状態になります。

シスプラチンは腎臓の働きに影響しやすい薬剤です。

腎障害を起こさないために予防として、シスプラチン点滴前後に大量の輸液を使用します。

★シスプラチン点滴当日～3日程度は、多めの水分をとるように心がけましょう。
(目安としては1日1L程度、可能な範囲で)

注意 カフェインが含まれるコーヒーや濃いお茶、アルコールは脱水をおこすため避けてください

尿量の減少やむくみなどの症状がみられたら病院へご連絡下さい。



幡多けんみん病院 TEL;0880-66-2222(代表)

- ・平日・休日・夜間を問わず、24時間対応いたします。
- ・ご連絡いただく際には、「現在、抗がん剤治療を行っている」旨をお伝えください。